



1064
6

普救類方卷之三下



内傷

脾胃虚冷して不食する

乾姜と醋すくして黄透くわうとう焙あぶりかハクハク粉こなふふ陳菜ちんさいと粥かゆ粥粥

そらり湯ゆ少すくくく右みぎの粉こなと粉こなり大豆とうふの大おほふふに丸まるトト六七十粒りゅう白しろ

湯ゆトト用もちゆゆ 本草細目

脾胃いよくよく食く滞どむむ食くとれとれ吐はきくととに

粟米あわと搗こ細こくく水みづ少すくくく粉こなり丸まるトトああふふ入いれ煮ゆ熟じやくし

塩しほ少すくくく入いれけけららふふ後のちののちててゆゆ 傳信尤易方

又方芎藭こうきうと鮑魚ほうぎょととひひととふふ煮ゆてて食くししててゆゆ 同

脾胃虚冷して不食して吐く

林良適

丹羽正伯

纂輯



91-1814

白豆蔻二粒粉して酒三合の内へいこ湯ちて飲べ一日
に三度飲く同

多く食して懨懨同
麦糯米绿豆等分炒熟し粉し白湯と入移りて食と

べし同又目を用ゆ同ハ効あり本草綱目
或ハ饑或ハ飽と定りて熱して食す同ハ心同ハ脾胃

虚弱同より同
陳倉米又合黄去と同炒熟し去と去陳皮二十粒粉と

十粒同後同飯のどり湯同て用て同千金方
又方百合末一ふづ米飲同用ゆ或ハ姜湯同て用も同傳信尤易方

又方陳麩粉同て二ふづ酒同て用ゆ酒同と飲同とあ同る考同
ハ同沸同る湯同あ同く用て同ハ同同

餅同ふ同の粉同と食同し酒同を同入同て腹同つ同ふ同に

津麩同と粉同ふ同て二ふづ酒同て用ゆ同同
酒臭肉同と多く飲同食同して腹脹同ら同使同く同る同ふ同

塩同と牙同小擦同わり湯同あ同く同口同を同く同事同二同夜同し同て同ハ同本草綱目

心腹同の同小脹同嘔同氣同い同て或ハ嘔逆同を同あり同又同宿酒同を同あり同る同ふ同も

香附同子同十六同文同縮砂同八同文同其同葉同葉同り同て同夏同粉同ふ同て二同ふ同づ同湯同

湯同あ同く用ゆ同但同ハ同塩同ハ同あ同く同る同ハ同同
莫多同の肉同乾同と多く食同と同ふ同り腸胃同に同こ同り虫同と同せ同

只生同茶同と食同しハ同外同の物同と食同す同る同ハ同次同才同ふ同つ同る同に

茶同本同と同米同再同ハ同ひ同ハ同焙同り粉同し餅同糊同あ同く移同り大同豆同乃

大同豆同乃同百粒同を腹同に飯同の同より湯同とて用ゆ同早同ニ夜用て同ハ同同
酒并同ハ同多同熱同度同小同色同肺同を同傷同り同る同ふ同
龜板同甲同十五同酥同と同わりて同炙同り同黃蘗同八十同文同酒同ハ同ひ同ハ同炒同知同母

早干文肉は浸し炒す之味粉し蜜あく移り胡椒の香
に九一七十分粒を扱小酒或ハ塩湯して用ゆ 治法彙

食を以て畜積小寝まハ穀骨痛と云ふも病も是ぢり
常小氣痛くして附とところ食後ハ甚しき小

大麥蘖二合半蜀椒十文同く炒乾姜二十文粉して二
分づ白湯して用ゆ日小三夜用く 本草綱目

補益

食と消し氣と下とん

縮砂と炒砂入酒にひき煮て飲べ 本草綱目

穀と新く饑とひふ

榆皮檀皮と粉し毎日湯あくのひべ 同

又方天门冬二百五十文熟地黄百六十文粉し蜜あく移り批

把の核乃大に丸しく三粒づ温く酒して用ゆ日小三夜

用く一匙路をじ粉小一日食せどももささり久

く用ゆ是ハ麻皮と申す一年と出るとかり同

又方大豆一斗二升又合わハ蒸と三遍して皮と去入麻子

七升又合小豆と一升一夜蒸と三遍して皮と去入豆と

同くつぎ細く煮の久ふまらり龍入蒸と二耐し

て火のりかろしと又二耐しして丸切晒しハハクと

し四耐しして粉ふし一程と食とべ一切の食おはよ

馬鞭草と梓汁と去ゆりニ合のてより 同

又老生姜汁とのてより 肘後備急方

常に肉乾と好きて食ひたりてまた食せんとぞ六肉癰あり

白馬鹿といふ種も食後小飲べし肉と吐かして食らるり

肉と吐かして食らるる種治せざして死するものなり 千金簡易方

大人小兒にふん臍のまわりかこまりたるを痞癰の痛むるあり

香附子南星等分粉す 生姜汁とてやまけらる粉とて移り

大豆の大に丸ト四五十粒つ生姜湯とく用ゆ 本草綱目 衛生易簡方

又方馬齒莧唾と醋とといき煮て一椀を後小のてより

腋中に積聚あり飲食すべし瘦つるを

虎杖根ニ合搗くからし酒とむく酒とのてより 肘後備急方

諸果と合をりふより積とあり腋より息せざりて

麝香一各肉桂十五粉す 飯糊とて移り绿豆の大さ丸ト大人

小六十又粒小兒五六七粒白湯とく用ゆ 本草綱目

又方肉桂と粉す 飯糊とて移り绿豆の大さ丸ト十粒つ

白湯とて用ゆ 傳信丸易方

常に生姜と好きて食ひたりてまた食せんとぞ六肉癰あり

吐と痰癰とより

結屎ニ合白米一合むより小炒焦し搗粉す 水とて飲るる

へし米のどれれ和と吐かして又六瘕と吐かして瘕いゆり

なり 千金簡易方

何れと食和の四は髪をあらを洗ひて食ひたりて胸の

虫ありてより又いりてよりして中を飲とを好む 飲人食と好む

がりの痰癰なり

中と黄し病人の枕りふとよ中の中と嗅せし飲

るる病人志より中をのまんとして飲とりの瘕て瘕

此後中の發癩はよりおべしむるを足るや石炭をよの
うにたけりあつら癩を抽かきとべし同
婦人血癩り後の中に塊を生じいじむ
繁縷葉と酒よかきまを炒熟して搗けとまかりとり温め
て用ゆ 本草綱目

又方守文一印と白麵とひらふ搗きとらし解のやうに
焙乾し合とべし血塊ととりて合べし同

又方瓦礫散と申さる醋あつかり丸湯とて用ゆ 同
又方お花する酒三合とて煮て合ふを煮しつあまらに用ゆ
又方牛膝葉と酒よかきまを炒熟して搗けとまかりとり温め
て用ゆ 本草綱目

又方藕節と荷葉と半分粉ふして二合漿酒の内よれ飲
ゆ又ハ酒とて煮しむらも同
衛生易簡方

奔豚ハ脈の下より痛むら胸へさのがり脈の走るとよりり痛むら

枳実と炙り粉とて一合湯とて用ゆ 本草綱目

又方薤の根と杵けとりのとて同
又ハ鼈甲酢とて煮しむらも同
一と二十分粉とて先桃仁皮と煮りととりて申す湯とて後

一研とけ七合とまかり煮しとて又合は煮つら右の粉と入
再び煮しとて久くと醋二合と入煮し湯のどくと一と七分酒

にうとまを後よのびべし同
鼈腹ハ後中ハ鼈の形乃どくちり塊ありて痛つら外とあまら

煮茶水よのし研とけと煮り丸をけしと白粉と二合酒飲とて同
又方薤根と皮と搗けと煮り丸をけしと白粉と二合酒飲とて同

婦人脈の下小塊ありて根のよとれしとて月あぬびぬ時よ煮り
ゆとて酒とて久くと煮り丸をけしと白粉と二合酒飲とて同

酸漿草合生の地黃八百を搗爛しけと煮りとりまけ

にて乾燥と煮つめたりする時丸わけ大豆の大豆丸
又六粒を後よ白湯よく用ゆ日ふ之夜用てし 肘後備急方
小兒後よ積塊ありふ

大あり牡龍とりの肉とすり水と煮て煮て汁めく粥と
食とべし 本草綱目

飲食傷

一切食傷

何れと食物と喰とく腹大ふり或ハ痛をどすれお
大麦麴と熱湯よくと一白湯よく用ゆ 本草綱目
又方大豆と水と煮をけとちり飲食物を吐て食らり 同
又方貝子一ツふ合じり 食物と吐く食べし 同
又方山楂肉を水と煮て食し 并ふをけとのそし 同

菓物の肉と喰すとさわりしりふ用く 同

又方あ二合のすりへ一合の生薑ト 飲ば吐留しと食べし 同

飲食乃後心同後たりし何の毒ありたりしと 辨じりふ

取茶と水と煮て飲とすのそし 備急良方

又方若冬とあやと生薑ト 飲と食成吐おし 同

又方犀角と研水と煮て飲とすのそし 肘後備急方

又方葱を搗をけと煮たりしりのそし 同

又方山豆と蒸熱 積と去搗とらり 寒と移り胡椒の

病後何れも食物あり病来しりふ 稟聚單方

病人の命しり食物のゆと焼粉ふしと二ふ津とて飲

子めしてゆし日ふ之夜かど用てし 十全簡易方

凡魚肉の乳毒入蓋とこめ至夜と越とる毒ありし肉

と金一毒あわさりそらふ

人糞とやと粉して二五酒入かきまぜ用ゆ 肘後備急方

又方薤を粹けと志なりきりへりかきも飲てし 同

臭名并小獸しそとのづう例死るおの肉ハ毒ありし

そ毒あわさりそらふ

故に乳中の垢とりて二五糞湯よかきまぜ飲合おとては

又方芙蓉の粉一五水一七用ゆ 同

諸の毒あわさり糞して同ハ鼻より血とあかどくたをとりふ

新しと人糞の汁と志はりそり飲べし或ハ乾し香葉とやと

原し水よかきまぜ用るとし 同

又方葱子二合水あつと煮まけと飲べし飲べし血よまぜ用

ゆ 肉毒あわさり血と吐小用ゆ 衛生易簡方

又方胡荽の子と水と煮冷しと飲べし肉毒あわさり血と吐

写とく小用ゆ 本草綱目

魚毒

諸の魚乃毒あわさりたるふ

又豆の煮けとのしそらふ 本草綱目

又方雜蕪とあつと法黄ののしそらふ 同

又方冬瓜の汁ととりとのしそらふ 同

又方塩を牙にすりゆり湯うておそとくと二と及みそらふ 同

又方貝子と焼粉してみち水ふつとまぜのじべし 同

又方芦根とつとまぜとりのじべし 備急良方

河豚の毒あわさりそらふ 本草綱目

煎ゆと多くいふとまぜいしそらふ 本草綱目

獸毒 附蟲毒

狗の肉を食ひ毒ふわり 腹脹熱おく 毒治をどいふ

杏に一合はくと夫ととを水呑を煮 飲べ 大便りませ用也

又方 芋根と水と煮 飲べ 同

牛肉を食ひて毒ふわり

其多氏水とく 法 煮く かりのそ

又方 狼牙とやき 灰して 三ま水いせ 飲ませのそ

又方 猪脂と湯の中にいせ 炒りませのそ

牛或ハ馬の肉を食ひ 毒ふわり

扁豆とやき 粉し 水とく 用也 本草細目

又方 耳系を水とく 法 煮く 飲べ 或ハ酒と煮 飲も

吐深くと金へ 湯つとまも 水と飲 飲り 水飲のめと

死ととのそり

又方 乳けとのそり

又方 芋根と水と煮 飲べ 同

又方 赤向の壁乃を煮り 水とく 飲べ 同

又方 鼠垢ととり 豆一粒 経ふと 飲べ 或ハ白湯と用也

供てあせと香るるに

鹽飯と水と入り 飲べ 飲べ 大便りませ 用也

又方 田中の泥ととり 丸ど 田中の水と そのそり

野菜中毒 附菓瓜苗

諸の野菜の毒ふわり

飲の塩と豆の大ききと 水とく 飲べ 或ハ白湯と用也

又方 土穴とかり 水とく 飲べ 或ハ白湯と用也

本草綱目卷之二十一

一切の菌の毒ふわりるるに

梨の葉と搗けとまはりとりのもてり本草綱目

又方患冬茶と嚼合してす同

又方石首魚の尻の皮とくさじ水と煮のそり同

又方人糞のけとまはり二三合のびへ毒ふわりるる時後備急方

ふるといとおめけ同

木耳の毒ふわりるる同

冬丸の蔓とつけとまはりるる本草綱目

酒毒

酒ふわりるるに

酒と牙よりゆりゆり湯とせと二三夜とまはり本草綱目

又方生芦根とつけとまはりるる同

酒と多く飲つて酔くさめらふ

葛根と搗けととり二日合後同

又方薑黄葉と研細ふり入同

又方九月九日同

又方小豆花と蒸と同

又方菘菜子と研細ふり同

又方酢同

又方酒と多く飲つて酔同

又方その水と同

又方その水と同

又方その水と同

又方その水と同

又方その水と同

酒毒と喉と舌のよふ細同

本草綱目

十三

大麻子二合を黄蘗二十支粉し一匙少く移り九ト湯に
飲す或ハ黄芩と用たり

酒毒少く口中ぬげしるま
田螺と煮たりけし

酒毒より小使通じがたぬ
蛇心と水と煮たり

酒とのそ後痢病とすなり
椎骨と水と煮たり用ゆ或ハ粉し白湯と飲り

酒とのそ解とぬくも解と下も脾胃と換せしむ
栝子仁麻子仁等分搗一合酒入のそ後酒と飲

又方麦門冬首花不綿花等分粉しして一合酒入かきまぜ
用て後酒とのそすり

又方白犬の乳けし酒入のそすり
又方白犬の乳けし酒入のそすり

又方白犬の乳けし酒入のそすり
又方白犬の乳けし酒入のそすり

藥毒

諸の藥毒小なり

白粉と水と煮たり

又方善根とみ小煮し用ゆ
又方赤白の礬乃と粉し水入のそすり

又方藍靛花と水と煮たり
又方草葉黑豆洗竹葉等と水と煮たり

又方服とくく小なり心中苦し

御湯の毒ふわりのりふ

肘後備急方

茄子あつ入揚げとりのりふ

防風と水と煮てのりふ

又方耳茶とあふ煮て飲べし或は肉桂と水と煮て飲べし

又方の毒ふわりのりふ

生薑汁と飲べし或は乾薑と水と煮てのりふ

杏仁の毒ふわりのりふ

藍の汁とのりふ

松梗の毒ふわりのりふ

白米粥と合してのりふ

耳遂の毒ふわりのりふ

大豆の煮汁とのりふ



蜈蚣のつらつら煮てのりふ

桑根と揚げとりのり飲べし或は桑根と水と煮て飲べし

俣て煤或は炭とのりふ

俣て令銀と毒ふわりのりふ

雅屎と水と入かき混ぜてのりふ

又方水漬二子と飲べし令とつとそ又後ありふ

又方鴉子の魚とのりふ

又方鴉子の魚とのりふ

池澤

池澤

白麩と炒黄みと二ふつを扱は白湯と用ゆ

又方烏梅と水と煮て用てし

又方又味子二十枚 吳茱萸五分 同く炒香く粉にして二枚
陳粟米と水して煮きう湯とより右の葉といはれまを中後
小引白或ハ痰をぬふのそと

衛生易簡方

大便のりどくりふ

厚朴乾姜等粉して蜜して移り大豆の大ふ丸とく

七八十粒飯のり湯して用ゆ 本草細目

又方黃連厚朴等分生薑汁ふきまぜ炒る二枚生薑二片

いまぬ二盞して煮ト一盞す小丸とつり用ゆ 衛生易簡方

又方車前子と炒焦し粉して二枚飯のり湯とより中後用ゆ 同

又方又倍子と粉して糊あく移り大豆の大ふ丸と二十粒

蓮葉の葉湯して用ゆ暑氣の何ら水瀉とより用て

水瀉と合和とまじめて通下後いふ

白聖と糞尿ふいもろぐと中ふ十枚乾姜炮して十枚

葉二十枚粉して糊あく移り菘豆の人ふ丸と二十粒飯の

り湯とくのとトして

又方養本八分白芍薬四枚黄芩二枚桂心一分水天目小二盞い

一盞す小丸とつり用ゆ 同

率小後りふ

百草の粉二枚飯のり湯あくのじべ

又方大蒜と搗足心并ハ脈の中み粉く

又方古き艾煎して生薑と水と煮ト一用て

又方又月め小苧麻の葉とより陰がふし貯とより二盞

水して用ゆ小児よみと用て

又方硫黄滑石粉して二枚飯のり湯とく用ゆ率に

大便のりどくりふ 傳信尤易方

又方神麴二十枚菘葉五枚湯と泡と十枚して二味粉

醋糊して湯り胡椒の末を丸にして四十粒づつ食前茶飲
少く用ゆ点灸人便りして一かば丸小用て一 得効方
世傳つてくして湯り丸

秦艽二文車前子炙て入水水して煎と用ゆ 本草綱目
急後りしてやまを小使通せざりふ

車前子炒粉して二ふつ茶飲少く用ゆ或ハ根葉と搗け
とまかりしりのむべ一 救急易方

暑濕ふわりあひく人便り或ハ食傷と胸つら腹りふ

林麩炒茶末茶餅は浸と二日丸か一焙り一ニ味を分
粉一麩粉糊して湯り大をのろ丸ト六十粒づつ飯のつ

湯少く用ゆ 傳信易方

腸胃小湿とけ後喘大便り自汗いづふ

白朮二十文附子炮して十文茯苓十文を合して二文水天

月小一盞生薑七片を二入七をろ炙どつち飲て 得効方
又方川芎林麩白朮附子等を粉して糊少く湯り胡椒のろふ

丸ト六十粒づつ飯のろり湯して用ゆ 同附子のと煎はのろにあり

久しく世傳やまざりふ

又倍子と粉して二文飯のろり湯して用ゆ 本草綱目

又方林葉と炒粉して六七文砂糖かきまを食して一 同

又方石栢の火心へやまを煎そく丸か一火毒とこまことと

一煎して研粉し別と石栢とあふ煎して湯りけして左の

粉茶とのろり 同

又方肉豆蔻十文煨灰入るぐとやまふ一附子七文粉を糊して

丸ト四又十粒飯のろり湯して用ゆ或ハ蓮肉の煨湯して用ゆは 同附子の事
又方肉豆蔻煨灰はゆれらづとやまふ一聖藥穀炙りて等分粉して

醋糊して丸ト四又十粒飯のろり湯して用ゆ 同

晨に腹よりてやまごらふ

生姜二十文黄連十文とごらふひよふかきまをく押つけ一夜言
て慢火よく炒生姜の葉もふたりふり時差とより黄連より
こと粉して二文つ細茶のうらんどみく用ゆ白痢は茶飲
或ハ酒して用ゆ 得効方

夜ふく大便とびくわりて法の業熱どかされふ

生薑十文半夏黄湯は泡く二十粒大者二十粒もごらふ水
八合いし合ふ黄ドつり用ゆ 兼聚草方

又方又味子十文呉茱萸二文ふかきく炒香く粉して
二文づ陳茶飲して吞りとべ 得効方

晝夜数とろくん浮るふ

呉茱萸黄連罌粟殼等分粉して醋糊して移り胡椒のふふ
九ト二十粒つや後小茶飲して吞りとべ 同

又方硫黄二十文枯白炭五文粉して研細して移り大豆のふふ
に九ト十粒と夜一二十粒づ白湯して用ゆ或ハ酒湯して

七用ゆ夜敷まげく腹痛さうふ用ゆ 本草細目

脾胃虚の世写小

白木又文白芍薬十文粉して飯のこり湯して移り大豆のふふ
小丸して百粒づ飯のこり湯して用ゆ是二夜用て一とたハ

肉豆蔻とく久丸ト用ゆ 同
脾胃えより弱く或ハ厚く或ハ痲病のどく或ハ炊くう後食を

そくすん或ハ食おこり多んしてりふ
小茴香二十文生姜半文細くふさぎと蒸入濕紙して切ひ一煎

ふさぎ研五日やこ相湯よ入慢火して炒黄を小すりより粉
一。ほそ移り胡椒のふふ九ト二十粒づ茶湯して用ゆ 兼聚草方

又方飯匙百文蓮肉山薬百八文づ炒香く一と味おきく

小兒熱ありて大便下りふ

黃蘗皮をけづり去焙り粉み飯のより湯をそそり粟の

又小丸ト二十粒は飯のより湯をそそり用也 同

又方車前子と炒粉小一末飲りて用也 葉の多少は小兒の

大小のよしなり 救急易方

小兒久しく泄瀉止む食物こらねどそそり并に不食とらふ

白朮炒て砕む五分半夏二五分丁香五分粉み一匙

粉と生姜汁をそそり糊して移り黍米れ之を小丸ト

飯のより湯をそそり用也 小兒の文少しなり 本草綱目

老人虚分りて泄瀉止さる小

附子赤石脂各一分粉み一醋糊して移り大豆の文少小丸ト

百粒で飯のより湯をそそり用也 同附子の文少しなり

又方高良姜青木香各一分粉み一棗肉を水と煮て黄蘗ト

右の粉をそそり胡椒の文少小丸ト乾姜の煎湯をそそり十五粒
より二十粒まで用也 泄瀉やん心氣はくと飲合とらはざり
小用也 傳信尤易方

痢病

痢病愈ぐる方

麴と蜜のより料理小豆は蜜を以て同く煮て食也 本草綱目

又方白朮と炒黄日二五分空暇一白湯をそそり用也 同

又方阿膠と炒て珠のより湯をそそり煮て黄蘗の粉をそそり

を移り胡椒の文少小丸ト二十粒末飲りて吞下とら 衆妙方

又方初生小玉瓜 蜜とほいて用也 傳信尤易方

又方十二推下る後一すす開と各と病人は年の數をそそり

又方脂の下す小魚と百粒とらば二枚は脂の中へ三粒をそそり 同

痢病勢のけりきふ

大蒜と糖をからし足心茶に豚の胆汁貼て下し本草綱目
又方黄連をけりきふ五分を天目小盃入二盃の煮汁を頻にのせし千金方
又方小まゝ鯉魚一枚焼灰中飯の湯とて用也衛生易方

痢病咽渴つゝれよ

麥門冬二ふ烏梅二つ肉づりとり水天目二盃入七分めめ
煎下つめ用也或い烏梅をりり水煎し用也本草綱目

痢病腹痛つゝ晝夜五六十度程とて通る後重かりふ

黄連一合酒五合して煎下し合せて煎下つめ用也同
又方薔薇根を糖汁をちりりとり用也衛生易方

痢病をりて大人小兒小かき晝夜百度なりかりん

楮葉を粉めて二ふづ烏梅の煎湯に入さきき飲下し續易方
痢病水も食物もちりりとりふ

椶櫚乃皮を焼粉して二ふのれく飲下し本草綱目

又方牛骨焼灰中神麴炒て多分粉ふし二ふづ飯乃
とり湯とて用也同

小兒の痢病也

粥乃心乾柿の皮と仁母び菜を合しては乳母も合下し同

又方雞腸草と糖汁をちりりとり蜜を入さきき用也同

又方冬瓜を糖汁をちりり飲下し咽かりつゝれりり衛生易方

蜜少く入り入さきき用也同

又方木瓜を糖汁をちりりめりり同

小兒痢病勢のけりきふ

小兒頭一頭やき灰中白湯とて用也同

又方赤小豆と粉の中をちりりとり湯とて用也同

熱痢

熱痢ハ身熱し咽らた小便濁り腹はみ痛熱つたよ

香蒲の根とさざりく五分粟米一匁水と煎下用の日

小二三服づつ用てよ 本草綱目

又方好茶と多し搗細し水にて濃煎下三碗のそよ 同

又方生地黄一匁七分地榆一分甘草四厘水天目二盃入一

盃煎下用空腹用の日小二三服用てよ 同

又方車前草葉瓜搗汁をより一盃の中に入れて蜜半盃入煎下

温めて二夜一飲べ一或ハ車前子を炒香く粉みして飯の

とろ湯とて用の 救急易方

又方黄芩黄連黄蘗各二匁五分熟艾を鶏子半分大さ終

四味合く二匁水一碗入七分行煎下ものし 得効方

又方地榆芍薬各一匁甘草當歸各二匁合て一匁水一碗とて

煎下用の小兒の熱痢用てよ 同

冷痢

冷痢ハ身は腹冷し不食なり

厚朴附子乾姜陳皮各一分粉ふ糊して移り粟米のそよ

小丸ト三十粒づ飯のそよと飲べ一日三夜づつ用てよ

得効方 附子のそよ

又方蒜を搗きとらぬ是のそよとてよ 小兒の冷

痢 千金簡易方

赤痢

赤痢ハ赤きもの下とかり

陳梅干茶に茶と蜜と瓜つれ水と煎下飲べ腹痛

はよとてよ 本草綱目

又方吳茱萸黑豆同し粉ふ湯とて用の豚のわらと

痛つたは用をより同
又方大麻子を水入研汁を候りより其汁にて綿豆を
煮て入らんと同

又方紅の雞冠花を水入酒にて煮用同

又方黃連の粉十々と鷄子白を和り餅の如く紫を色よ
かり候わづ醋七合半の四にいれ火をゆるして煮ては免

膏の如くして二匙づ飯の湯入のてより或ハ黃
連の粉を鷄子白と丸用をより同

又方赤小豆の粉を端して候丸とてより用は膝の下に
ふみつけたりむより衛生易簡方

白痢ハ白き物を下とかり

白き雞冠花と水入酒にて煎用同 本草綱目

白痢

白痢ハ白き物を下とかり

白き雞冠花と水入酒にて煎用同 本草綱目

又方麩粉を炒て二盞の内に入合をより同

赤白痢

赤白痢ハ赤き物と白きものとはどりりりり

胡椒綿豆二味とん病人の年の粉を糊とて候り

丸用赤痢ハ生姜湯にて用白痢ハ飯の湯

にて用也 本草綱目

又方蓮葉とやま粉やそ二ふづ用白赤痢ハ蜜湯にて

用白痢ハ沙糖湯にて用也 同

又方葱の白根ときごの末のききせ粥と煮て毎日食

とん同

又方艾葉を醋にて煮のてより或ハ生姜といれは

くも煎用也 衛生易簡方

又方李根を水にて煮て飲用也 衛生易簡方

又方黃連十斤本香一石兵茱萸五斤好炒粉炒一
一二分酒煮之飯のとり湯にて用也 神農本草經方

小兒乃赤白痢

黃連を水にて濃煎下つち蜜を少入かきませ用也 本草綱目

又方鹿角を火うぐやまき灰汁一私髪と中と灰汁一
等分少一二分づ炒して用也 同

又方麻仁を炒香く研細かくて二分づ醋にて用也 同

又方蜂房とやまき粉やて五分津にて嚙下とぐり 同

又方胡麻三四斤搗湯一斗入蜜を少一かきませ用也 同

婦人懷妊并の產後の赤白痢

生姜汁十斤鷲子一箇抄破り右乃生姜汁一斗かきませ煎
いて八分め細く煮てつち蒲黃二分一五七分づ沸して
空腹のじど作し病人身につく者より生姜汁二分一斗
得効方

血痢

痢病血を下とる

楮木皮と荆芥りと芍薬粉して二分醋にて用也 本草綱目

又方山梔子を焙粉して二分醋にて用也 鮮血を
下とる用也 同

又方蓮華葉の葉と水と煎下用也 同

又方木賊二分水ぬでんと用也 同

又方白朮と紙とつとてまき研て粥といれ食とぐり 同

又方黃連四分好酒五合蒸して物を入醜のうへに
よく煮し黄連をとり中よりかき取し乾く粉にして
糊して細く小豆乃大とん丸とて十粒づ熟水くくつ
下してすし 得効方

小兒乃血痢

本草綱目

二三十粒づつ空腹より白湯を用也 本草綱目

又方艾葉陳皮多分炒し煎じ用也 同

又方石榴一ツ火よこぐばま煙そく取出し火毒とさほととて

一夜あて研粉ふし別み石榴を水に煎じどろろけし右の

粉並み用也 同

又方五倍子醋しひて炒し七度粉あて飯のころ湯

うけて用也 同

又方鼈一ツ冷す季に用ゆる中より久し養とまへ焼めて

炙砂糖一塊入し煮く合し養汁をこして 治法彙

又方厚朴一匁黄連一匁水天目ぬ二盃入煎じどろろけし右の

酒を多くとす 本草綱目

痢病とかり年月必経て止ざる用也 續易方

赤白痢久し止ざる

地榆を水に煎じどろろけし布に絞る去空

腹に飲く 同

又方黄連四十九梅干七ツ土器に入れ黒焼あて二匁づ飯

乃とり湯の内へ塩がし入れかきませ用也 同

又方熟しうけ栝樓と一ツやき粉ふし一匁づ温めし

酒をて用也 同

老人脾胃虚して痢病久しやませる

山椒十匁炒搗て粉ふし白麩四十匁二味しのかきませる

みく餅のぶくちり水しそ考空腹より合すと 得効方

又方神麹二十匁多し搗粉ふし青梁米四合同く煮て

合すと 同

又方黍米四合阿膠二反炒て珠母一先黍米づらうを
入煮熟し一斗の何膠を入のまき也空版の合を也 同

休息痢

休息痢ハ大投と中痢とをいひる也服して一應痢のゆゆも
あつぐり毒氣のぞくわらひ痢病の後保赤丸をく止るハ
まご茶のわらりていまご茶を愈せり也

龍尾草花を搗粉めて一斗湯をて用也 本草綱目

又方雞子一ツ打中づらうをまき黄蠟を指頭の二と程
一塊鍋のうらひくさうか右の雞子皮のまき炒熟し

空版の合と也小児の疳痢も用てよう 救急易方

又方乾姜づらうをまき細茶を粉め烏梅肉を
一斗せ大豆れん丸と三十粒づ空版み飯のうら湯を

用也 得効方

噤口痢

噤口痢ハ食物を一切合とらあてりて痢の勢むさげ
しきかり

乾ら山菜半分の炒半分の生ひく粉中二斗で飯なり
湯をて用てよう 本草綱目

又方蕎麥麩二斗砂糖水を用也 同 但蕎麥切ハ同

又方蘿蔔をへぎ蜜をいへるみうを汁を嚙べ味ちた
よいう毎いへてのじど 同

又方蓮肉皮を去炒て粉ふ一斗で空版り米飲り
用也 救急易方

又方田螺を搗きらう臍の中につらをのべ熱毒の氣を
引下り也 治法彙

又方大蒜を搗きらう一斗は乃心は付べ一斗臍の中を

付くより 千金方

小兒痢症

小兒痢症日て痢病をうねるふ

益母草根れ葉と末と同く粥を煮て毎日食せしむる

よき茶ぬ煮汁をのびべし 本草綱目

又方蟾蜍を焼粉あて一ふづ合し自然津水で飲下

させてよし 同

又方蝦蟇二ツやき灰中へ免屎を炒て五五同く粉ふ

し蓮子れ末と粉給はけし肛門しつれてよし 日ふと夜い

まてくるとよし 同

又方薤白を杵きざらし糠米の粉茶ぬ蜜をいれ移し

餅ふし炙り熱し食してよし 續易方簡方

又方赤石脂川芎を粉あて五分づ飯のとり湯をそ

用也 衛生易方簡方

痢後雜症

痢病やま後不食とるふ

赤小豆水ぬ煮し合してよし 衛生易方簡方

痢病日敷久しで四肢浮腫口のつれ

冬瓜一ツ黄土をけし土のあつさ五寸移し火しし

胞ぬし熱し取ぬし土を去冬瓜の汁をちぢりし

てよし 同

痢病の後風ぬあつり子足とくづり痛し伸屈自由た

ざらぬ

鼈甲醋しひし炙り黄ふし郁李仁枳壳独活を粉

粉ふし木瓜の葉汁を粉あて用也酒を粉あてよし 得効方

又方川烏頭赤芍薬茶蒼朮酒しし土朱を粉あて

糊コりて移シりて大豆マメの大豆マメ小丸コウト木瓜コウの葉エト汁ジト用ヨひ
てより同

普救類方卷之三下



